

おれんじニュース

No336

2018年3月



三俣山へ

CONTENTS

月例山行案内	2
登山とロープ	3
潮騒の旅	4
多良岳	5
三俣山	6
伯耆大山	8
雲仙 普賢岳	10
搬出訓練	11
おれんじカレンダー	12

2018年	3月	4月	時間	場所
専門部会	13日(火)	10日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	28日(水)	25日(水)	19:00~21:00	公民館

3月



部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部	自然保護部
月/日(曜)	3/18(日)	3/23(金)	3/25(日)	3/31(土)
山名(行事)	倉木山	十二支公園 No.2 & 蓮華石岳	鞍岳～ツームシ山	発心山
地 図	別府西部小野屋	諫早・諫早南部	鞍 岳(菊池)	草 野(久留米)
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 9:10 西諫早駅 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10
難 易 度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	18:00	15:00	18:00	18:30
歩行時間	4.5h	2.5h	5.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	時間により	無し	時間により	遊心の湯
参加費	5,000円	500円	5,000円	4,000円
申込期限	3/15	3/16	3/18	3/25
集 約	山下ちず子	林 孝子	田 村	坂 本
備 考	山頂は別府市と湯布院町の境界にある。	十二支公園のNo.2です	頂上からは外輪山の開放的な稜線を野鳥や草花を観察しながら散歩を楽しむ	*久留米と八女にまたがる草野氏の山城址、古民家資料館あり *夏目漱石の足跡など

4月

部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部
月/日(曜)	4/11(水)	4/15(日)	4/27(金)	4/21(土)~22(日)
山名(行事)	(阿蘇)高岳、中岳	不動岩(日輪寺)	十二支公園No.3	大金峰～小金峰
地 図	阿蘇山、根子岳	山 鹿	諫早南部	葉 木
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅県営バス 8:53 発	諫早駅裏 5:20 西諫早駅 5:30
難 易 度	体力2/技術2	体力1/技術1	体力1/技術1	体力2/技術1
帰着時間	18:00	18:00	16:00	18:30
歩行時間	3.5h	3.0h	4.0h	1日5.0h/2日4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	バス	マイカー
宿泊施設	無し	無し	無し	もみ木キャンプ場
温 泉	無し	有り	無し	有り
参加費	5,000円	5,000円	実 費	6,000円
申込期限	4/10	4/8	4/20	4/14
集 約	田 村	坂 本	林 孝子	山下ちずこ
備 考	阿蘇5岳の主峰と噴煙あがる中岳を巡るコース	日輪寺は47士の遺髪を祀る寺で浄光寺上の不動岩を登りココファームで卵料理を楽しむ	十二支公園NO3です。新緑楽しみましょう	五家荘の山岳では珍しく九州歩道二本杉からのルートの一部をなし整備されている。

登山とロープ



危険回避と滑落防止にはロープが必要！

登山にはなぜロープが必要なのでしょう？
一番の理由としては、自身の命を守るため、
次に仲間の命を守るためです。

一般登山道、低山においても鎖場や岩場が出てくることがあります。
基礎的なロープワークを身に付けておけばそういった所でより安全に行動ができます。
そして、ロープがあれば万一のトラブル時に色々な対処の可能性が広がります。
主に万が一に備えるためのものなので、本当に必要なのか悩んでしまうところですが、
山では万が一のことを常に考慮しなければなりません。

ロープの種類

ロープには大きく分けて2つの種類があります。

1. ダイナミックロープ：墜落時に人体にかかる衝撃を少なくするため、伸び率が大きく設定されている。一般登山の装備としてはこのロープ°が適当であろう。
2. スタティックロープ：主に救助に使うロープ。伸び率が少ないため、登山の装備には向いていない。

また、ロープの大きさにより使用法や使用目的が異なります。

1. 補助ロープ：鎖や梯子がある岩場でのセルフビレイ(自己確保)をする場合や、アンザイレン(安全確保をするために2人以上をザイルで結び合う)の際などに用いられる。
φ8.0mm—10~20m程度。一般登山の装備としてはこのロープ°が適当であろう。
2. シングルロープ：現在のフリークライミングの主流で、1本でフォールを支えるため径が太くなり、φ10.0mm—50~60m程度になる。
3. ダブルロープ：2本を1セットとして使うことを前提としていて、主にアルパインクライミングで用いられる。万が一1本が切れても、残りの1本で支えられることや、長い懸垂下降にも使えるなどの利点がある為で、φ9.0mm—50~60m程度になる。

ロープと同時に必要な装備！

ロープだけを登山に持って行っても、それが最大限に生かされる事はありません。安全確保にはシュリングとカラビナが必要です。

1. シュリングは主にチェストハーネスを作るために使用する。
2. そのチェストハーネスとロープをカラビナでつなげると、登山の安全性を高めることができる。また、要救助者にハーネスを作って引き上げることもできる。
3. ロープは団体装備、シュリングとカラビナ(3個位)は個人装備としてセットで持参しよう。



ロープで広がる登山の世界



ロープ、ハーネス、カラビナの使い方などマスターすると、緊急時にも冷静に行動できると思います。その積み重ねの先に憧れの山が待っているかもしれませんね。その為には、毎月実施している「コンパニオンレスキュー」にぜひ参加しましょう。他会の方でも歓迎です。

潮騒の旅

三日目

日島で迎えた朝。

依頼していたタクシーが来る迄の時間で裏山を探索。

柵が張ってあって鹿が多らしい。住民は被害を受けていると言っていた。

若松まで戻り、若松港よりフェリーにて奈留島へ移動。昨日渡った若松大橋を船上から眺めながらくぐり、奈留島まで50分の船旅でした。奈留島に初上陸。

レンタカーにて島内を巡る。

島にある唯一の高校にユーミン直筆の歌碑がある。

白とブルーで塗り分けられ、さわやかな印象の江上天主堂があって、千畳敷の大岩でボルダリングを楽しんだ。

三日目もこの島でテント泊の予定だったが、急遽知人宅に宿泊させてもらう事になった。

クーラーが程よく効いた部屋で、蚊の心配も無くやすむことができた。

(國分記 つづく)



奈留高校のユーミンの歌



千畳敷



江上天主堂

多良岳

2018/1/26(金)



行程

- (往) 西諫早駅 9:00—9:10 諫早駅裏—10:00 金泉寺
登山口 10:15~10:45 金泉寺 10:50~11:23 多良岳
(復) 多良岳 11:28~12:05 金泉寺~12:35 登山口
(ぜんざい会)13:40—15:00 西諫早

登山概要

- * 金泉寺下の登山口を出発して多良山頂に至るお決まりのコースで、兵庫、山口、田村、林の4名は金泉寺までとし西の越先まで往復して山頂組の帰りを待つ。金泉寺山小屋の外に設置している温度計はマイナス3度を指している。
- * 鳥居をくぐり雪の積もった急な石段を登るがそんなに危ないことはない。国見岳の分岐から多良岳までは北側になるので風も冷たくなり雪も多くなる。すべて谷川に落ちないように慎重に通過する。最後に石段を登り頂上へ。天気が良くて気持ちいい。



郡岳、遠目山、経ヶ岳がきれいに見える。下山は特にこまめに声を掛け合い慎重に下る。

- * 登山口の四阿でぜんざいの用意をする間にテント設営の訓練を行なった。テント完成後は中でコンロを使用しぜんざいの早い出来上がりに役だった。

ちょっと感想

- ◎新年初めてのお寺参り多良権現は厚い氷と僅かな雪。青空に映えるマンサクは蕾もみえず、下山中のマイナス4度で冷えた胃は『善哉祭り』でやっと動き出した。
- ◎山も素晴らしい!、ぜんざいとお煮しめはさらによかったですね。花より団子ですね。
- ◎雪の名残で緊張したが美味しい煮しめとぜんざいのおかげでエネルギー補給が出来た。
- ◎前日から下ごしらえして用意をしてくれた、田村さんに感謝!感謝!
- ◎車座のぜんざい美味し斑雪……詠み人知らず



三俣山(1744.3m) 1月28日

参加者

乾 山下(ち) 松岡 鎗水 川原 田村 高森
松田 国分 工藤 福岡 小熊 米田 大久保

行程

西諫早駅 6:30—諫早 IC—金立 SA(休憩)—玖珠 SA—九重 IC 9:30—大曲登山 9:50
—スガモリ越 11:15—西峰 11:40—スガモリ越 12:20—大曲登山口 13:50
—花山醉 14:20/15:40—諫早 IC 18:15

登山概要

これまで九重に行くたびに、特徴的な三俣山の山容を眺めてきたのですが、三俣山に登るのは、初めてでした。岩が点在して勾配も、かなりあるゴロ帯を抜けるだけで寒さも、あいまって、かなりのエネルギーを消耗しました。スガモリ越に着いた時は正直ホッと、しました。何とか西峰には、たどり着きましたが強風で視界も悪く本峰、南峰の巡回は、あきらめて下山しました。やはり冬山は通常の登山と違って寒さや雪の上での歩行等々体力も気力も倍は、必要だと実感しました。2月9日から大山に行って弥山山頂を目指すので装備も入念に点検しようと思いました。



ほっとスガモリ



アタック成功一同 感激

ちょっと感想

- *雪の多さにビックリ。少し寒かったのですが、雪の上を歩くのが気持ちよくて楽しかったです。三俣西峰の温度計は-10度でした。天気が良ければ周りの景色も素晴らしいと思うのですが見られなくて残念でした。しかし西峰に登る事が出来て良かったです。
- *初めての雪山登山と期待していたが吹雪で予定より縦走時間が短くて消化不良。しかし、冬山の厳しさは学べた。また挑戦したい。
- *バスで3時間、走ったら真白な別世界がありました。強風の為、前回は「スガモリ越」で今回は「西峰」までで下山という残念な結果になりました。山は逃げないから、もう一度、挑戦したいです。
- *雪の三俣山は久々。2月9日からの伯耆大山の前哨戦と考えたが、やはり伯耆大山の厳しさは荒れれば数倍であろう。改造したアイゼンと新しい手袋の効果も確かめることができた。



スタート



まだまだ余裕



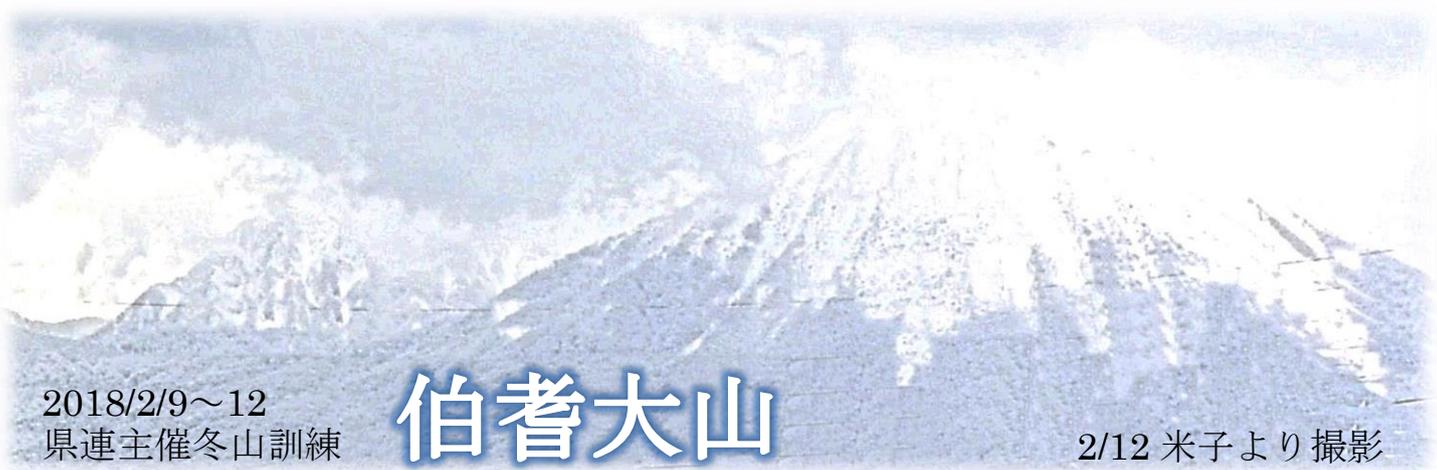
寒く、きつく、鼻水もこらえつつ悪戦苦闘の中、厳冬の三俣山山頂に立つことが出来ました。冬山の醍醐味を、たっぷり味わい全員、無事に下山。



いい湯だな



寒風が突き刺さる吹雪の中、4時間余の雪中行軍も終わり、ようやく花山酔に、たどり着き身も心も、あったまる至福の時を過ごすことが出来ました。幸せです。



2018/2/9～12
県連主催冬山訓練

伯耆大山

2/12 米子より撮影

参加者 川原、松岡、山下ち、鎗水 県連全体では18名

登山概要

2/9 20:00 長崎を発ち、2/10 早朝大山町の旅館に入り登山装備を整えた。

今回は4パーティーの編成(A:弥山尾根西稜、B:弥山往復、C:6合目まで、ハイキング)で、川原さんはCのリーダー、Bは松岡、山下ち、鎗水、富永(東部労山)各氏で弥山を目指した。

Bパーティーは7:45に夏山登山道入口を出発。雨か雪が舞う、積雪も思ったほどではなかったが、高度を上げるに従い深くなり4年前の登頂時より深い。

7、8合目は急登の上に風雪でトレースがなく、視界も悪い。8合目を過ぎたあたりでは積雪とホワイトアウトで9合目への分岐が分らず、既にある目印の棹を辿り少し回り道して避難小屋に12:00頃到着。避難小屋は完全に雪に埋没状態であった。

下りもホワイトアウトから抜け出す事と7、8合目の急斜面には苦勞した。

2/11はB、C合同で5合目から行者コースを下り元谷へ。深い新雪でルートファインディングする事は興味深く勉強になった。先頭でラッセルする我が身は雪まみれ、後方ではシリシェードで楽しんでいる。でも初めての人が冬の大山の厳しさの中にも、美しさや楽しさを見つけたことは、次につながる良い機会になったと思う。



行者コースをシリシェードで下る



2/11 訓練



大神山神社



旅館でカンパニー



旅館で初日の反省会



一合目～二合目へ



二合目～三合目へ



三合目～五合目へ



六合目休憩



ちょっと感想(他の会、クラブの方の感想も承諾を得て掲載しました)

- ❄️ 冬山デビュー、思い出になりました。皆さんの奮闘に感謝です。
- ❄️ 最悪の天気と冬らしい天気でした。冬山は何度行っても良いです。
- ❄️ 弥山、三度目の挑戦で何とか山頂に立つことが出来ました。8合目から視界が利かない悪天候だけに達成感も格別でした。
- ❄️ 弥山に登れたことが嬉しかったですね。四人でなしえた事だと思います。
- ❄️ オレンジ各氏(Y、Y、M)の急速な技術向上を強く感じました。
- ❄️ 雨の大山から翌日は一転して豪雪！吹雪く中を行者コースから元谷へ。トレースも何もない、真っ白な谷をどんどん下って行くのはすごく気持ち良かったです。大山の素晴らしい銀世界に魅了されました。
- ❄️ 白銀の世界が私を迎えてくれました、まるで「雪とアナの女王」の世界。テーマ曲を口ずさみながら♪♪。突然の強風に頬を叩きつけられる痛さ、両肩の冷たさ、手先のジンジンする痺れ、急斜面ではアイゼンを着けた足が上がりず、膝で登り上りました。自然の美しさと厳しさと、雪山の経験不足を身をもって感じた登山でした。初めて登った事に大満足すると同時に、更なる雪山への挑戦意欲がわいてきました。

2018/2/4 雲仙 普賢岳

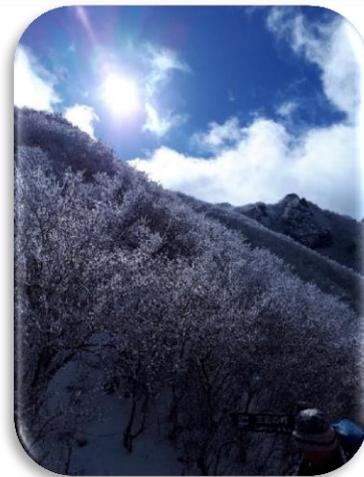
参加者 中須賀、 鎗水、松岡、中野、白石、高森

行程 8:00 西諫早～10:00 池ノ原駐車場～10:50 仁田峠～11:30 あざみ谷
～12:00 紅葉茶屋/昼食～西の風穴～北の風穴～鳩穴分かれ～立岩の峰
～霧氷沢分かれ～13:20 普賢岳～紅葉茶屋～仁田峠～池ノ原駐車場
～17:00 西諫早

概要 2/3 午後から寒波襲来、池ノ原駐車場までの道路事情が心配されたが積雪や氷結した所も殆どなく、ノーマルタイヤで往復とも問題なし。あざみ谷から立岩の峰を回り普賢岳へ、帰りは妙見を省略した。雲仙の寒さは厳しく、樹林のない所では寒風で猶更であった。但し全体としては積雪は少ないし、樹氷で白くなっていたが 霧氷はなく残念であった。
アイゼンで歩き難い所が結構あった。登りは不要だったかもしれない。

ちょっと感想

- *寒波襲来に期待したが霧氷が見られず残念、しかし冬山の厳しさを二週続けて経験、伯耆大山の前訓練になった。
- *池ノ原に着くまでは不安でしたが後は行って良かったの感じです。何度見ても雪も樹氷も最高！
- *冬の雲仙と言えはなんと言っても霧氷なのですが、残念ながら雪は多かったものの肝心の霧氷は今一つで、キラキラ感が有りませんでした、山では長崎で顔馴染みの「へバルナ」や「カルチャー」のメンバーに会いました。へバルナの1人がアイゼンの代用に荒縄を縛り付け登っていたのが目をひきました。
- *極寒、真っ白な世界、樹氷など登った者しか見られない物がある。だから寒くても又行きたいと思うのかもしれない
- *四か月振りの山行に不安を感じながらの参加、足元のバランス不安、ストック片手に余計な力が入る。雲仙岳の雪景色と樹氷に癒されました。



18/1/20

搬出訓練

参加者 川原、坂口、鎗水、松岡、大久保
金丸、工藤…7名（県連全体 32名）

概要

セルフレスキューの基本として、登山中の事故者の救助を行うには、まずは当事者のみで技術、体力、装備と経験をいかして、迅速に最善を尽くし、救助活動を行うことが登山者の義務です。そのためには、日々の訓練によってスムーズな事故対応ができる様にしておくことが必要となります。

今回、県連登山学校の一環として、長崎市の日吉青年の家にて講義後、付近の山中で3班のグループごと、配布された資料を参考にして、それぞれ独自で搬出訓練を行いました。いくつかの搬出方法を実施した時の問題点等を列記しました。

	搬出方法	利点	欠点	備考
①	ジャンパー、ジャケットなどを繋ぐ	・制作が容易 ・軽量	・立木が身近にないと搬送が困難	・立木を利用して幅木で固定必要
②	ザック担架	・乗り心地が良い ・ザックベルトを利用	・強度の確認が出来ない	・3個以上が望ましい
③	シバぞり担架	・大型の制作可能	・シバの緊結が容易でなく重量がある	・斜面では摩擦で重くなる
④	ロープ担架	・強度は大きい ・確実性がある	・ロープ長が20m以上 ・制作に手間がかかる	・ロープの常備は難しい
⑤	ファイヤーマンズキャリー	・短時間でできる ・装備が不要	・長距離は難しい	・交代要員が必要



ザック担架

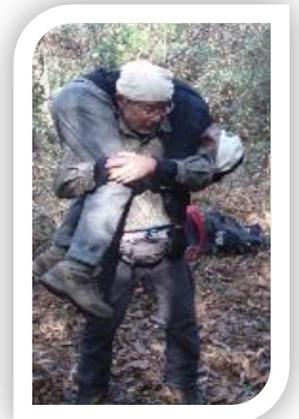


斜面はオモカナー

ザック背負



シバぞり担架



ファイヤーマンズキャリー

ちょっと感想

- * ザック背負い、ロープ担架の作成、足首捻挫応急処置、一通りのやり方と効果を確認し、実用的であることは実感した。しかし、全員が体験するには時間不足だった。
- * 今回の搬出訓練に参加して、非常に参考になりいい機会を与えていただきました。今後は少しでも技術の習得に努めたいと思います。
- * ザイル担架は負傷者の安定感があり、ベルトで固定も出来る利点もあって有効だったと思います。午後からのシバぞりの制作と搬送は時間がかかり重かったので実践的ではないと思いました。負傷者を背負うファイヤーマンズキャリー等も勉強になりました。

おれんじカレンダー

3月			4月		
1	木		1	日	
2	金		2	月	
3	土		3	火	
4	日		4	水	水曜登山(8:00 西駅)
5	月		5	木	
6	火		6	金	
7	水	水曜登山(8:00 西駅)	7	土	
8	木		8	日	
9	金		9	月	
10	土		10	火	専門部会(13:30~15:30)
11	日		11	水	阿蘇(中岳, 高岳) (山行部)
12	月		12	木	
13	火	専門部会(13:30~15:30)	13	金	
14	水	水曜登山(8:00 西駅)	14	土	
15	木		15	日	不動岩(山鹿) (自然保護部)
16	金		16	月	
17	土		17	火	
18	日	倉木山(湯布院) (技術研修部)	18	水	水曜登山(8:00 西駅)
19	月		19	木	
20	火		20	金	
21	水	水曜登山(8:00 西駅)	21	土	大金峰~小金峰 (技術研修部)
22	木		22	日	
23	金	十二支公園 No.2 & 蓮華石岳 (ひまわり部)	23	月	
24	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)	24	火	
25	日	鞍岳~ツームシ山 (山行部)	25	水	水曜登山、全体集会 (19:00~21:00)
26	月		26	木	
27	火		27	金	十二支公園 NO3 (ひまわり山行)
28	水	水曜登山、全体集会 (19:00~21:00)	28	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)
29	木		29	日	
30	金		30	月	
31	土	発心山(草野・久留米) (自然保護部)			

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者 (兼編集委員)	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、工藤学、松岡正樹
発行年月日	2018/2/28
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com

<p>安心! 5年間保証 ・施工後も年に1回の無料点検 ・最大5000万円の損害賠償保証付</p>	<p>床下点検・見積無料 キャンセルされても 料金が発生すること は一切ございません。</p>	<p>シロアリ予防, 駆除・パソコン販売, 修理 合同会社 まずは、お気軽にお問い合わせください。 三喜企画 0957-47-5988</p>
--	--	--